

Microsoft 365 Copilot の拡張・カスタマイズ



シナリオに最適なMicrosoft 365 Copilot拡張パスを選択する

カスタム データ、ロジック、アクションを使用して Microsoft 365 Copilotを拡張するための開発オプションについて説明します。 シナリオに最適なアプローチを決定します。

- モジュール1
 - エージェントの基礎の解説
- モジュール2
 - MicrosoftのAIエージェント関連テクノロジ解説
- モジュール3
 - Microsoft 365 Copilotの拡張・カスタマイズ
- モジュール4
 - カスタムエンジンエージェント開発

- Microsoft 365 Copilotの拡張方法
- Microsoft 365 Copilot コネクタ
- 宣言型エージェントを作成する
 - SharePoint（ノーコード）
 - Microsoft Copilot Studio Lite <エージェントビルダー>（ノーコード）
 - Microsoft Copilot Studio（ノーコード、ローコード）
 - Visual Studio Code と Microsoft 365 Agents Toolkit（Pro コード）
- まとめ

- Microsoft 365 Copilotの拡張方法
- Microsoft 365 Copilot コネクタ
- 宣言型エージェントを作成する
 - SharePoint（ノーコード）
 - Microsoft Copilot Studio Lite <エージェントビルダー>（ノーコード）
 - Microsoft Copilot Studio（ノーコード、ローコード）
 - Visual Studio Code と Microsoft 365 Agents Toolkit（Pro コード）
- まとめ

Microsoft 365 Copilotの拡張方法

5

- Microsoft 365 Copilot コネクタ
 - 外部データやシステムを接続（Microsoft Copilot のナレッジとして使用できる）
 - Copilot Chat で使用可能
- 宣言型エージェント（Declarative agents）
 - Microsoft 365 Copilot をカスタマイズして作成したエージェント
- カスタムエンジンエージェント（モジュール4で解説）
 - 外部環境や独自のバックエンド（例：Microsoft Foundry）を使用したエージェント
 - Microsoft 365 Copilot は UI やチャネル（Teams、Copilot UX）を提供するだけで、処理ロジックは外部エンジンで実行

- Microsoft 365 Copilotの拡張方法
- Microsoft 365 Copilot コネクタ
- 宣言型エージェントを作成する
 - SharePoint（ノーコード）
 - Microsoft Copilot Studio Lite <エージェントビルダー>（ノーコード）
 - Microsoft Copilot Studio（ノーコード、ローコード）
 - Visual Studio Code と Microsoft 365 Agents Toolkit（Pro コード）
- まとめ

Microsoft 365 Copilot コネクタ

7

- Microsoft 365 Copilot コネクタ で外部から情報を取り込む

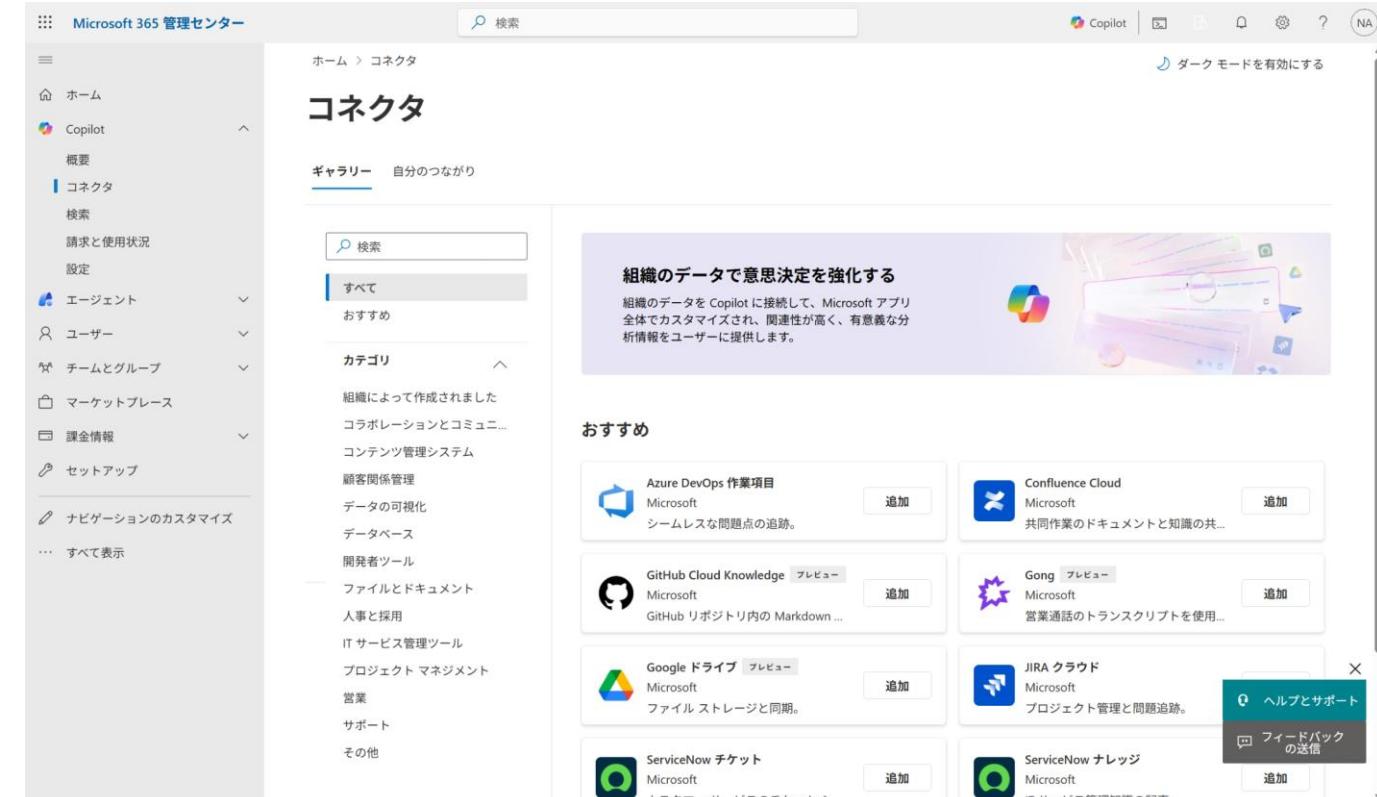
- 旧名称: Microsoft Graph コネクタ

- 外部のアプリやシステムのデータを Microsoft Graph に取り込む

- 取り込みの頻度やアクセス許可はコネクタ側で制御

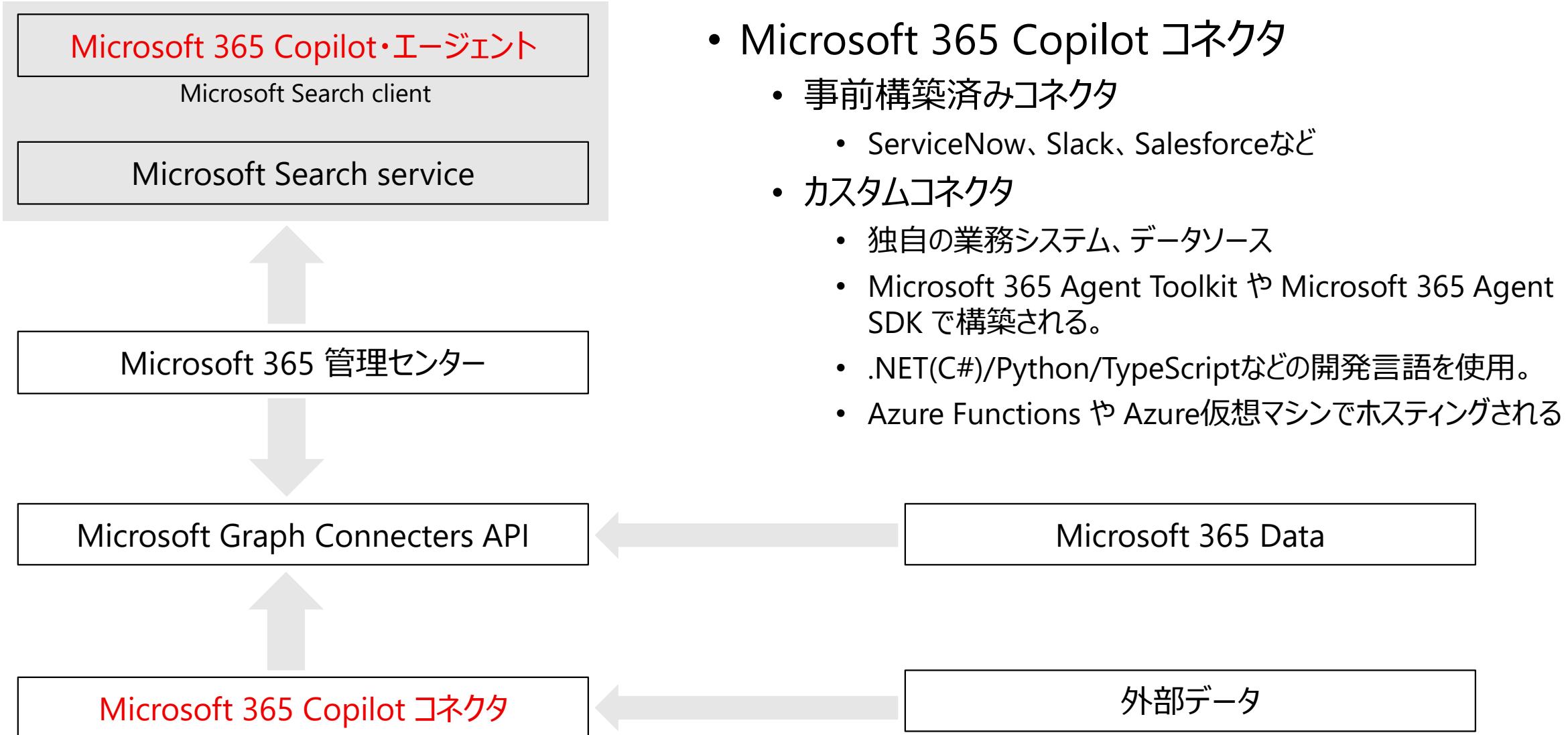
- 取り込まれたデータは、その組織の Microsoft 365 Copilot や エージェント などで利用できる

- Microsoft 365 Copilot やエージェント自体のカスタマイズや設定は不要
 - 「事前構築済みコネクタ」: 開発済みのすぐに使えるコネクタ
 - 「カスタムコネクタ」: ユーザーが独自に開発するコネクタ



Microsoft 365 Copilot コネクタ アーキテクチャ

8



- メリット

- **Copilotの検索精度と関連性を向上**
→ 外部データを取り込むことで、より正確な回答が可能。
- **検索体験を統一**
→ 複数のリポジトリを一元的に検索できる。
- **エージェントなしでCopilotを拡張**
→ コードや会話型エージェントを作らなくても機能強化できる。
- **スケーラビリティとセキュリティを確保**
→ Microsoft 365のアクセス制御を尊重。
- **エージェント開発をサポート**
→ エージェントがコネクタ経由のデータを利用可能。

- 制約

- **会話インターフェースや動作を制御できない**
→ CopilotのUIや応答ロジックは変更不可。
- **インデックス可能なコンテンツに限定**
→ 動的データや非構造化データには制約あり。
- **開発者による設定が必要**
→ REST APIや管理者設定が必要になる場合あり。
- **リアルタイムデータや動的ワークフローは非対応**
→ 常に最新のデータ取得や複雑な自動化は難しい。

Copilot コネクタ

10

Microsoft 365 管理センター

検索

Copilot | NA

ダーク モードを有効にする

ホーム > コネクタ

コネクタ

ギャラリー 自分のつながり

検索

すべて おすすめ

カテゴリ

組織によって作成されました

コラボレーションとコミュニティ

コンテンツ管理システム

顧客関係管理

データの可視化

データベース

開発者ツール

ファイルとドキュメント

人事と採用

IT サービス管理ツール

プロジェクトマネジメント

営業

サポート

その他

ナビゲーションのカスタマイズ

すべて表示

組織のデータで意思決定を強化する

組織のデータを Copilot に接続して、Microsoft アプリ全体でカスタマイズされ、関連性が高く、有意義な分析情報をユーザーに提供します。

おすすめ

Azure DevOps 作業項目 Microsoft シームレスな問題点の追跡。 追加

Confluence Cloud Microsoft 共同作業のドキュメントと知識の共... 追加

GitHub Cloud Knowledge Microsoft GitHub リポジトリ内の Markdown ... 追加

Gong Microsoft 営業通話のトランскriプトを使用... 追加

Google ドライブ Microsoft ファイルストレージと同期。 追加

JIRA クラウド Microsoft プロジェクト管理と問題追跡。 追加

ServiceNow チケット Microsoft カスタマー サービスのチケットシ... 追加

ServiceNow ナレッジ Microsoft IT サービス管理知識の記事。 追加

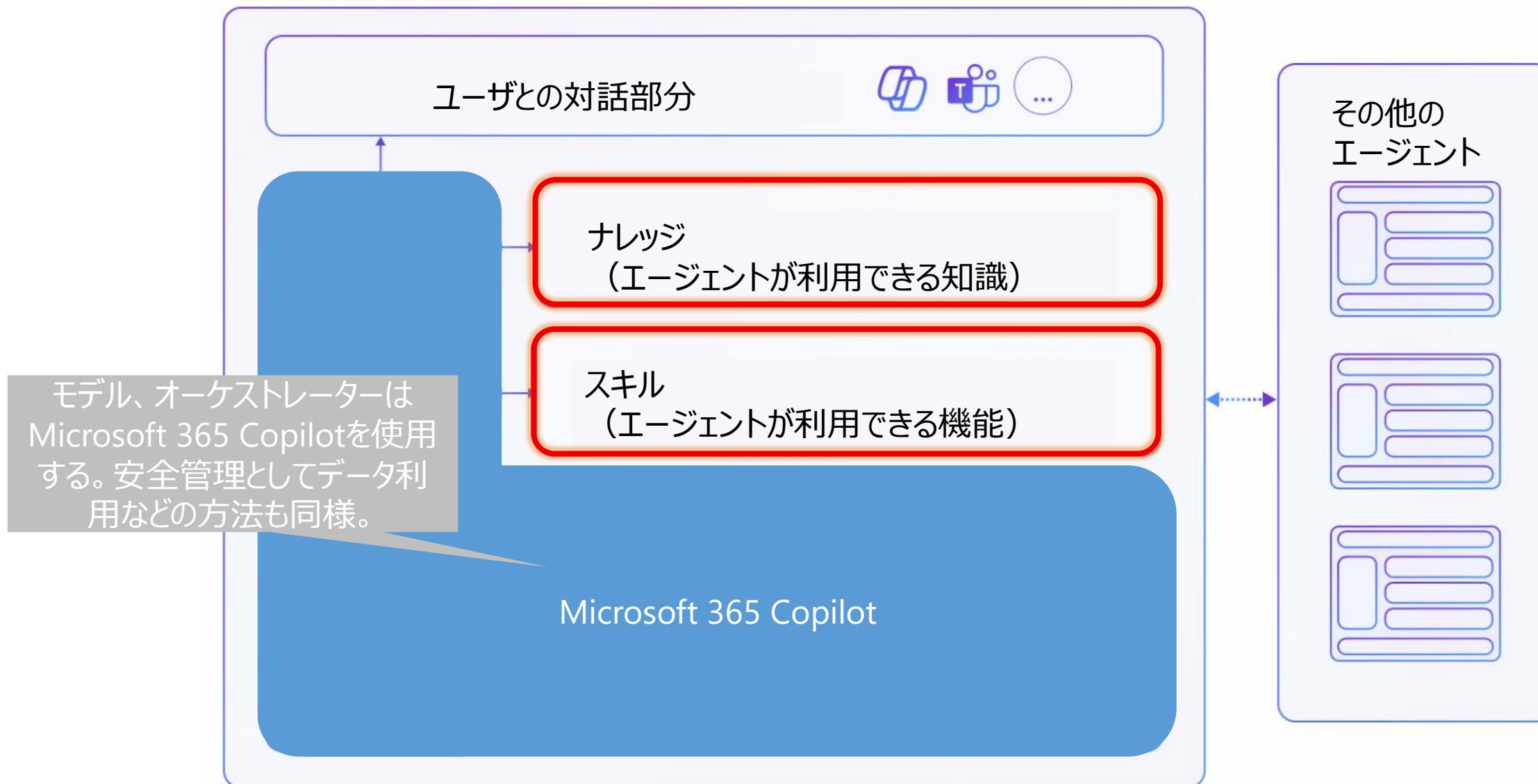
ヘルプとサポート

フィードバックの送信

- Microsoft 365 Copilotの拡張方法
- Microsoft 365 Copilot コネクタ
- 宣言型エージェントを作成する
 - SharePoint（ノーコード）
 - Microsoft Copilot Studio Lite <エージェントビルダー>（ノーコード）
 - Microsoft Copilot Studio（ノーコード、ローコード）
 - Visual Studio Code と Microsoft 365 Agents Toolkit（Pro コード）
- まとめ

宣言型エージェント (Declarative agents)

12



- Microsoft 365 Copilotをカスタマイズして作成したエージェントのこと
- Microsoft 365 Copilotと同じプラットフォーム (CopilotのAIインフラ、モデル、オーケストレーターを使用) にホスティング
- Microsoft 365のセキュリティ、コンプライアンス、責任あるAI(RAI)要件を満たす
- カスタマイズするのは3つの要素
 - 指示 (Instructions)
→ エージェントの振る舞いやロジックを文章で指定します。
 - ナレッジ
→ SharePointやコネクタなど、企業データを使ってエージェントを「現実に基づかせる」ための情報源。
 - ツール
→ Power Platform を含むコネクタのアクションやMCPなどと連携してリアルタイムデータ取得や操作を行う。

- ・宣言型エージェントの作成に使用できるツールは複数あるが、最終的に作成されるのはいくつかの設定ファイル（正確には「**マニフェスト**」と呼ばれる）の集まりです
 - ・これらの設定ファイルの中に、エージェントが利用するナレッジやスキルに関する情報が記載される。つまりMicrosoft 365 Copilotをどのようにカスタマイズするかについての情報が設定ファイルに記載されている
 - ・マニフェストは JSON形式で、エージェントの構成要素（名前、説明、指示、アクション、知識ソース、オプション設定など）を定義しCopilotや関連サービスに統合するための必須要素です。
- ・宣言型エージェントは「Declarative Agent Manifest」、カスタムエンジンエージェントは「App Manifest + CustomEngineAgents ノード」で管理されます。

[Microsoft 365 Copilotの宣言型エージェントスキーマ 1.6 | Microsoft Learn](#)

[Microsoft 365 Copilotの宣言型エージェントをカスタム エンジン エージェントに変換する | Microsoft Learn](#)

[Microsoft 365 app manifest schema reference | Microsoft Learn](#)

- 開発スタイル：
 - ローコード／ノーコード中心
- 利用環境：
 - Microsoft 365 Copilot基盤上で動作
- 構成要素：
 - マニフェスト、スキル（トリガー、ツール、エージェント、トピックなど）、ナレッジソース
- 開発ツール：
 - Copilot Studio（GUIで設定）、Power Platform コネクタ
- チャネル：
 - Copilot Chat、TeamsなどMicrosoft 365 UIに統合

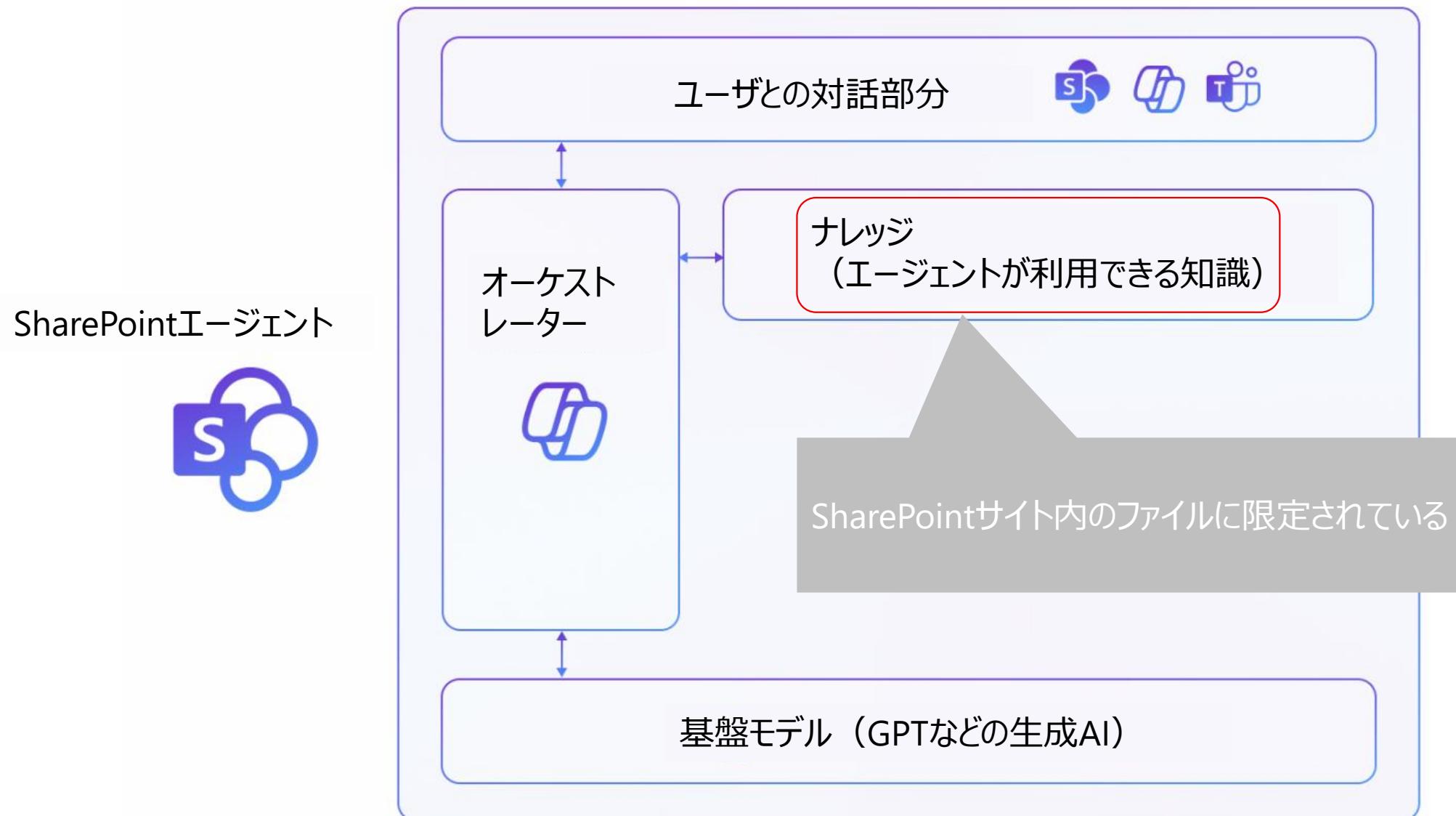
- Copilot Chat、TeamsをUIに使用する（必須）
- 要件がCopilot Studioで完結できる場合
 - ナレッジやスキル（ツールなど）で対応可能
 - 外部エンジンや独自オーケストレーション不要
- 基盤モデルやオーケストレーションのカスタマイズが不要
- 短期間で構築したい場合（業務フロー自動化、FAQ対応など）

- Microsoft 365 Copilotの拡張方法
- Microsoft 365 Copilot コネクタ
- 宣言型エージェントを作成する
 - SharePoint（ノーコード）
 - Microsoft Copilot Studio Lite <エージェントビルダー>（ノーコード）
 - Microsoft Copilot Studio（ノーコード、ローコード）
 - Visual Studio Code と Microsoft 365 Agents Toolkit（Pro コード）
- まとめ

- SharePoint エージェントは、Microsoft Copilot の一部として SharePoint ファイルを使用したエージェント（チャットボット）です。
 - SharePoint エージェント=「サイト内の情報検索・要約に特化した軽量AI」
 - Microsoft 365 Copilot エージェント=「Microsoft 365全体や外部システムを統合し、業務プロセスを自動化する高度AI」

SharePoint エージェントー内部構成

19



SharePoint エージェントの作成

20

このサイトを検索

NA

プライベート グループ ★ フォロー中 2人のメンバー

発行済み 共有 編集

ホーム 新規 ページの詳細 プレビュー 分析

スレッド
ドキュメント
ノートブック
ページ
サイトコンテンツ
ごみ箱
編集

Copilot Dev Camp - HR

ニュース + 追加

チーム サイトの [ニュース] でチームに最新情報を伝える

ドキュメントを選択します

チームを連携させよう

ニュースの追加

SharePoint 今

サイトにページを追加

ページは、画像、Excel、Word、...

SharePoint 今

アクティビティ

Shared Documents

Whistleblowing Procedures in Contoso

What is whistleblowing?

Layoff Procedures for Employees in Contoso

What is a layoff?

Shared Documents

Shared Documents

クイック リンク

チーム サイトの詳細
ページを追加する方法

ドキュメント

すべて表示

名前

Career Path Options in the USA.pptx

Career Path Options.docx

Hiring Procedures.docx

Incomes of Employees in the USA.pdf

Layoff Procedures.docx

Whistleblowing Procedures.docx

S

SharePoint エージェントの作成

21

The screenshot shows a SharePoint library named "Copilot Dev Camp - HR". The left navigation pane is open, showing categories like ホーム, スレッド, ドキュメント, ノートブック, ページ, サイトコンテンツ, ごみ箱, and 編集. The "ドキュメント" category is selected, highlighted with a teal border. The main area displays a grid of documents with columns for 名前 (Name), 更新日時 (Last Modified), and 更新者 (Last Modified By). All documents were modified yesterday at 21:45 by Naoki Abe. The documents listed are "Career Path Options in the ...", "Career Path Options.docx", "Hiring Procedures.docx", "Incomes of Employees in th...", "Layoff Procedures.docx", and "Whistleblowing Procedures....". A large gray callout box in the bottom-left corner contains the Japanese text "エージェントで使用するファイルを選択します" (Select the file to be used by the agent). At the bottom left, there is a link "従来の SharePoint の表示に戻す" (Return to the classic SharePoint view). The top right corner shows a user profile icon with the letters "NA".

このライブラリを検索

プライベート グループ ★ フォロー中 2人のメンバー

+ 新規 ▾ グリッド ビューで編集 AI アクション ▾ 削除 お気に入り ...

すべてのドキュメント ▾ 6 個のアイテムを選択済み 詳細

ドキュメント

名前 更新日時 更新者

Career Path Options in the ... 昨日 21:45 Naoki Abe

Career Path Options.docx 昨日 21:45 Naoki Abe

Hiring Procedures.docx 昨日 21:45 Naoki Abe

Incomes of Employees in th... 昨日 21:45 Naoki Abe

Layoff Procedures.docx 昨日 21:45 Naoki Abe

Whistleblowing Procedures.... 昨日 21:45 Naoki Abe

エージェントで使用するファイルを選択します

従来の SharePoint の表示に戻す

SharePoint エージェントの作成

22



ライブラリでファイルを選択せずに **エージェントの作成**を選択すると、エージェントは現在のドキュメント ライブラリ全体を対象にします。ファイルやサブフォルダーを選択してから **エージェントの作成** を選択すると、エージェントは選択したコンテンツのみを対象にします。1 つのエージェントにつき 20 項目を超えて選択することはできません。

SharePoint エージェントの作成

23

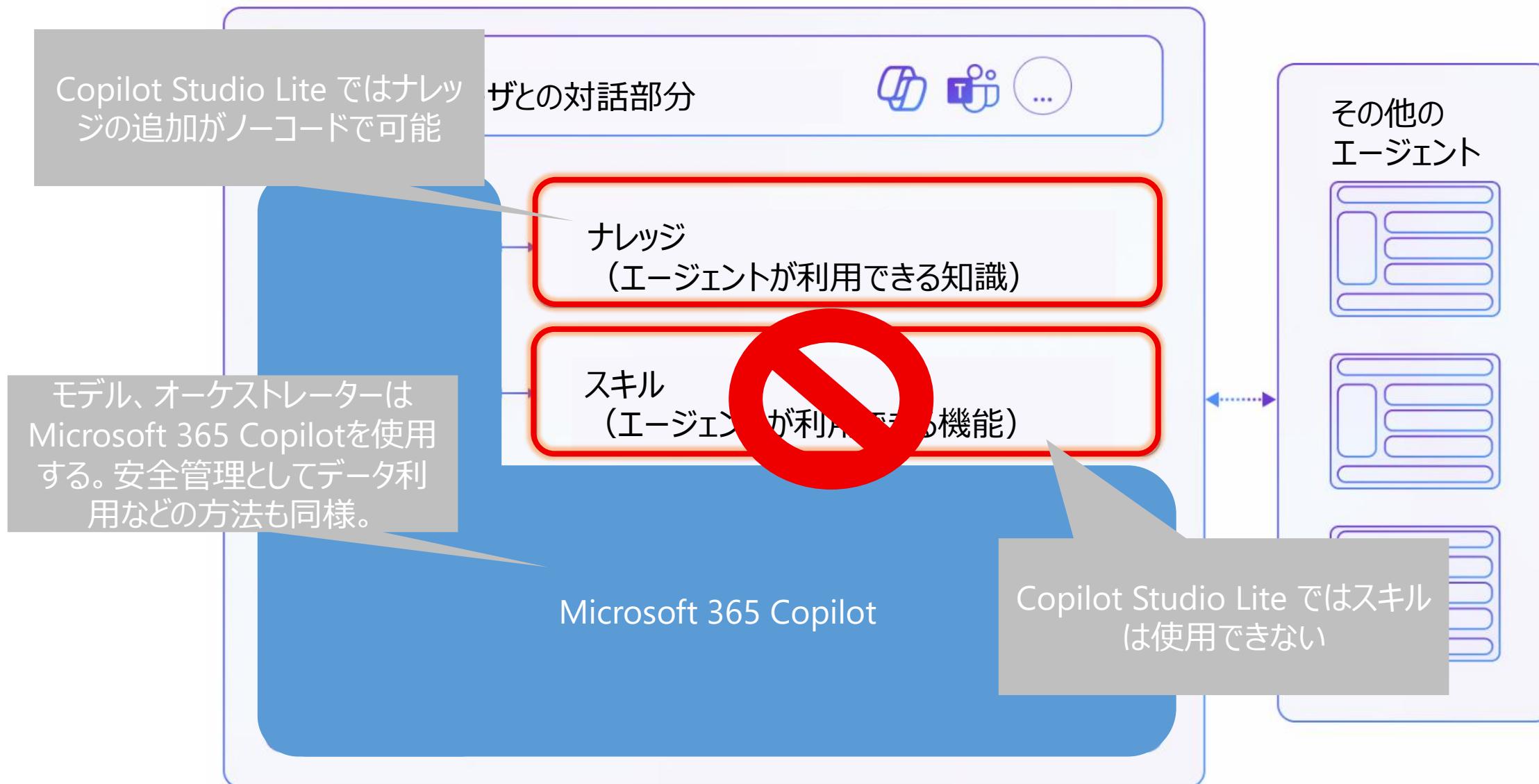
The screenshot shows a SharePoint site titled "Copilot Dev Camp - HR". The left navigation bar is visible with options like ホーム, スレッド, ドキュメント, ノートブック, ページ, サイトコンテンツ, ごみ箱, and 編集. The "ドキュメント" option is selected. A search bar at the top right says "このライブラリを検索". The main content area has a title "新しいエージェントファイルを作成する" and a large green "C" icon. Below it is a section titled "新規 エージェント" with the author "Naoki Abe". It says "この エージェント は、次のソースに基づいています:" followed by six document icons: "Career Path Options in th... ファイル", "Career Path Options.docx ファイル", "Hiring Procedures.docx ファイル", "Incomes of Employees in... ファイル", "Layoff Procedures.docx ファイル", and "Whistleblowing Procedur... ファイル". A message at the bottom says "エージェント の準備ができました" and "新規 エージェント を使用、共有、編集できるようになりました。エージェント を編集して、関連するソース、動作、共有オプションを管理します。". A call-to-action button "エージェントを開く" is highlighted with a large gray callout pointing to it. Another button "編集" is also visible. At the bottom left, there's a link "従来の SharePoint の表示に戻す". The top right corner shows "プライベート グループ ★ フォロー中 2人のメンバー".

- Microsoft 365 Copilotの拡張方法
- Microsoft 365 Copilot コネクタ
- 宣言型エージェントを作成する
 - SharePoint (ノーコード)
 - Microsoft Copilot Studio Lite <エージェントビルダー> (ノーコード)
 - Microsoft Copilot Studio (ノーコード、ローコード)
 - Visual Studio Code と Microsoft 365 Agents Toolkit (Pro コード)
- まとめ

- Microsoft 365 Copilot Chatで「エージェントの作成」をクリックして「Copilot Studio Lite <エージェントビルダー>」を起動し、簡単にエージェントを作成できる
- チャット形式で、作成したいエージェントについて説明する
- ナレッジ（Webサイトやファイルなど）を追加できる
- オプションで、コードインタプリターや画像ジェネレーターも追加できる
- **ノーコード**で作成できる
- 作成したエージェントはMicrosoft 365 Copilot Chatで利用できる

宣言型エージェント (Declarative agents)

26



- **詳細**

- アイコン
- 名前
- 説明

- **指示**

- **ナレッジ** (エージェントが返信を生成するためのソースを設定)

- ファイル
- Teams 会議、チャット
- メール
- Webサイト (認証なし)
- 他のデータソースを追加

- **機能**

- コードインタープリター
- 画像ジェネレーター

- **推奨プロンプト**

Copilot Chat エージェントの作成方法

28

The screenshot shows the Microsoft Copilot Chat interface. At the top, there's a navigation bar with 'M365 Copilot' logo, search bar, and tabs for '職場' (Workplace) and 'Web'. On the right, there are buttons for 'GPT-5 On', a dropdown menu, and other settings.

A large callout box in the center contains the text: 'Copilot Chat からエージェントの作成をクリックします ことはありますか?' (Is it possible to click 'Create Agent' from the Copilot Chat?). A grey arrow points from this box towards the 'エージェント' (Agent) button in the sidebar.

The sidebar on the left lists various features: 'Chat', 'エージェント' (Agent), 'リサーチツール' (Research Tools), 'アナリスト' (Analyst), 'Demo エージェント' (Demo Agent), 'HR Agent', 'Microsoft 365 Copilot', 'すべてのエージェント' (All Agents), 'エージェントの作成' (Create Agent), '会話' (Conversation), 'ページ' (Page), 'ノートブック' (Notebook), '作成' (Create), 'アプリ' (App), and '管理' (Management).

The main area shows a message input field 'Copilot ヘメッセージを送る' (Send message to Copilot) with a '+' button and a microphone icon. Below it are three cards representing AI-generated tasks:

- List key points from Copilot PowerPoint Starter Template N...** (Icon: document with red highlights)
- Find emails from person with keywords in the subject line an...** (Icon: speech bubble with blue dots)
- What is the schedule outlined in the email titled email?** (Icon: question mark)

At the bottom, there's a link '表示を増やす ▾' (Show more) and a footer note: 'naokiabe@wwldemo.c... ...' and 'プレミアム Copilot 機能が有効になっています' (Premium Copilot features are enabled).

Copilot Chat エージェントの作成方法

29

The screenshot shows the Microsoft Copilot Studio interface for creating a new agent. On the left sidebar, under 'エージェントの作成', the option '会話' is selected. A large central panel displays a preview of the '経費サポート' agent, which is described as supporting expense claims. Below the preview, there's a large text input field containing Japanese text: '作成したいエージェントに関するプロンプトを入力します' (Please enter the prompt for the agent you want to create). At the bottom of the input field, there are two message boxes: one for the user ('メッセージを入力してください') and one for the AI ('メッセージを入力してください'). The overall interface is clean and modern, with a blue header and white background.

M365 Copilot

Copilot Studio 自分のエージェント > 経費サポート

下書きを自動保存しました 作成 ...

検索

Chat

エージェント

リサーチツール

アナリスト

Demo エージェント

HR Agent

Microsoft 365 Copilot Blo...

すべてのエージェント

エージェントの作成

会話

ページ

ノートブック

作成

アプリ

管理

naokiabe@wwldemo.c... ...

プレミアム Copilot 機能が有効になっています

説明 構成

キャリア コーチ Microsoft キャリア コーチは、パーソナライズされたキャリ...

クイズ家庭教師 Microsoft クイズ家庭教師はトレーニング ドキュメントに基...

テンプレートをすべて表示する

経費精算を支援する

Agent preview

新しいチャット

経費サポート

経費精算の申請や手続きに関するサポートを行うエージェントです。

経費精算の流れを教えて
経費精算の一般的な流れを教えてください。

必要書類の確認
経費精算に必要な書類は何ですか？

承認フローの説明
経費精算の承認フローについて説明してください。

経費規定の案内
経費精算に関する規定を教えてください。

申請時の注意点
経費精算申請時に注意すべき点は何ですか？

よくある質問
経費精算に関するよくある質問を教えてください。

はい、いいです

メッセージを入力してください 0/2000

メッセージを入力してください

AI で生成されたコンテンツは不適切な場合があります | M365 の Copilot Studio 機能は Copilot Studio サービスにより処理されます。このエクスペリエンスの使用をもって、これらの 使用条件 に同意したと見なされます | プライバシーと Cookie

Copilot Chat エージェントの作成方法

30

The screenshot shows the Microsoft Copilot Studio interface for creating a new agent. On the left, a sidebar lists various agent types like 'エージェント', 'リサーチツール', and 'Demo エージェント'. The 'エージェントの作成' section is selected. In the center, a preview window shows a '説明' tab with two template cards: 'キャリアコーチ' and 'クイズ家庭教師', both from Microsoft. A large central area contains a message from AI: 'プロンプトのやり取りができたら「作成」をクリックします。' (After the conversation, click 'Create'). Below this, the '構成' tab is visible. On the right, the 'Agent preview' shows the '経費サポート' agent with a green checkmark and the message '下書きを自動保存しました' (Draft automatically saved). The '作成' button is highlighted with a blue border. At the bottom, there's a message input field 'メッセージを入力してください' (Please enter a message) and a send button.

M365 Copilot

Copilot Studio 自分のエージェント > 経費サポート

下書きを自動保存しました 作成 ...

検索

Chat

エージェント

リサーチツール

アナリスト

Demo エージェント

HR Agent

Microsoft 365 Copilot Blo...

すべてのエージェント

エージェントの作成

会話

ページ

ノートブック

作成

アプリ

管理

naokiabe@wwldemo.c... ...

AIで生成されたコンテンツは不適切な場合があります | M365 の Copilot Studio 機能は Copilot Studio サービスにより処理されます。このエクスペリエンスの使用をもって、これらの [使用条件](#)に同意したと見なされます | プライバシーと Cookie

説明 構成

Agent preview

新しいチャット

キャリアコーチ Microsoft キャリアコーチは、パーソナライズされたアドバイスを提供するエージェントです。

クイズ家庭教師 Microsoft クイズ家庭教師はトレーニング ドキュメントに基づいて問題を生成します。

テンプレートをすべて表示する

経費精算を支援する

プロンプトのやり取りができたら「作成」をクリックします。

経費サポート

経費精算の申請や手続きに関するサポートを行うエージェントです。

経費精算の流れを教えて

経費精算の一般的な流れを教えてください。

必要書類の確認

経費精算に必要な書類は何ですか？

承認フローの説明

経費精算の承認フローについて説明してください。

経費規定の案内

経費精算に関する規定を教えてください。

申請時の注意点

経費精算申請時に注意すべき点は何ですか？

よくある質問

経費精算に関するよくある質問を教えてください。

メッセージを入力してください

0/2000

Copilot Chat エージェントの作成方法

31

The screenshot shows the Copilot Studio interface for creating a new agent. The left sidebar lists categories like HR Agent, Chat, Agent, and Research Tools. The main area shows a preview of the 'キャリアコーチ Microsoft' card. A central modal window displays the message "エージェントが作成できました。" (Agent created successfully). Below it, another modal says "エージェントが正常に作成されました!" (Agent was successfully created) and "This agent is currently **private** and only available to you." A button labeled "エージェントに移動する" (Move to Agent) is visible. The right side of the screen shows a summary of the agent's capabilities, including sections for expense reporting, application tips, and frequently asked questions.

M365 Copilot

Copilot Studio 自分のエージェント > 経費サポート

最終更新は 2025年11月26日 の 22:05:20 です

更新 共有 ...

検索

Chat

エージェント

リサーチ ツール

エージェントが作成できました。

HR Agent

すべてのエージェント

エージェントの作成

会話

ページ

ノートブック

作成

アプリ

管理

naokiabe@wwldemo.c... ...

AI で生成されたコンテンツは不適切な場合があります | M365 の Copilot Studio 機能は Copilot Studio サービスにより処理されます。このエクスペリエンスの使用をもって、これらの使用条件に同意したと見なされます | プライバシーと Cookie

Copilot Chat エージェントの作成方法

32

The screenshot shows the M365 Copilot interface. On the left, a sidebar lists various features: M365 Copilot, 経費サポート (selected), Chat, エージェント (selected), リサーチツール, アナリスト, 経費サポート (highlighted in blue), Demo エージェント, HR Agent, すべてのエージェント, エージェントの作成, 会話, ページ, and ノートブック. The main area displays a card for the '経費サポート' agent, created by Naoki Abe. The card includes a prompt: 'ホテルの宿泊費の上限はありますか？'. Below the card, there are two additional cards: '必要書類の確認' (What documents are required for expense reporting?) and '承認フローの説明' (Explanation of the approval flow). A large gray overlay at the bottom left contains the text 'エージェントを使用して、プロンプトを入力します。' (Enter a prompt using the agent). At the bottom right, there is a link '表示を増やす ▾'.

M365 Copilot

経費サポート

検索

Chat

エージェント

リサーチツール

アナリスト

経費サポート

Demo エージェント

HR Agent

すべてのエージェント

エージェントの作成

会話

ページ

ノートブック

エージェントを使用して、プロンプトを入力します。

経費サポート

Naoki Abe さんが作成

ホテルの宿泊費の上限はありますか？

+ 0 →

必要書類の確認
経費精算に必要な書類は何ですか？

承認フローの説明
経費精算の承認フローについて説明してください。

表示を増やす ▾

naokiabe@wwldemo.c... ...

プレミアム Copilot 機能が有効になっています

Copilot Chat エージェントの作成方法

33

The screenshot shows the M365 Copilot interface with the following details:

- Left Sidebar:** Shows a navigation menu with "M365 Copilot" at the top, followed by sections like "検索" (Search), "Chat", "エージェント" (Agent), "リサーチツール" (Research Tools), "アナリスト" (Analyst), "経費サポート" (Expense Support) which is highlighted, "Demo エージェント", "HR Agent", "すべてのエージェント", "エージェントの作成" (Create Agent), and "会話". Under "会話", there's a list of conversations including "ホテル宿泊費の上限と規定..." (selected), "20250905135105-demo.xlsx", "広大な平原で商人がChai Tea...", "Mystic Spiceチャイ市場分析...", "Mystic Spiceチャイティー市...", and "すべての会話".
- Top Bar:** Displays the title "経費サポート > ホテル宿泊費の上限と規定確認方法" and the date "今日".
- Main Content Area:** A large text block titled "経費サポート" explains that travel expense limits vary by company policy. It lists several rules:
 - 地域別の上限: 国内出張と海外出張で金額が異なる場合があります。
 - 宿泊費のみの上限: 例えば「1泊あたり〇〇円まで」など。
 - 朝食込みかどうか: 朝食付きプランが推奨される場合もあります。
 - 領収書必須: 必ず領収書を提出する必要があります。
- Bottom Text Overlay:** A gray box contains the message "会社のポリシー情報を設定していないので、一般的な回答をしています。" (As I have not set up company policy information, I am providing a general answer.)
- Footer:** Includes a "Copilotへメッセージを送る" button, a "naokiabe@wwldemo.c..." email link, and a note "プレミアム Copilot 機能が有効になっています" (Premium Copilot features are enabled).
- Right Side Buttons:** Includes icons for "Copilotへメッセージを送る", "AI 生成", and "...".

- Microsoft 365 Copilotの拡張方法
- Microsoft 365 Copilot コネクタ
- 宣言型エージェントを作成する
 - SharePoint (ノーコード)
 - Microsoft Copilot Studio Lite <エージェントビルダー> (ノーコード)
 - Microsoft Copilot Studio (ノーコード、ローコード)
 - Visual Studio Code と Microsoft 365 Agents Toolkit (Pro コード)
- まとめ

- Microsoft Copilot Studioで、簡単にエージェントを作成できる
- チャット形式で、作成したいエージェントについて説明する
- ナレッジ（Webサイトやファイルなど）を追加できる
- エージェントのモデルを選択できる（GPT-4.1、GPT-5 Autoなど）
- エージェントのスキル（トリガー、ツール、エージェント、トピックなど）を構成できる
- ノーコード、ローコードで作成できる
- 作成したエージェントはMicrosoft 365 Copilot Chatで利用できる

Microsoft Copilot Studio

36

The screenshot shows the Microsoft Copilot Studio interface. On the left is a sidebar with icons for Home, Create, Agent, Flow, and Tools. The main area has a title '説明をもとにエージェントを作成する' (Create an agent based on the provided description) with tabs for Helpdesk, Expense tracking, and HR & Benefits. A note says 'このエージェントの役割を日常の言葉で説明します' (Describe the agent's role in everyday language). Below is a table of recently used agents:

名前	タイプ	最終変更日	最終公開日	所有者	保護の状態
翻訳エージェント	エージェント	# Naoki Abe 1日前	なし	# Naoki Abe	--
Copilot for Microsoft 365	Microsoft		なし		--
Contoso Electronics products support	エージェント	# Naoki Abe 10日前	10日前	# Naoki Abe	保護済み

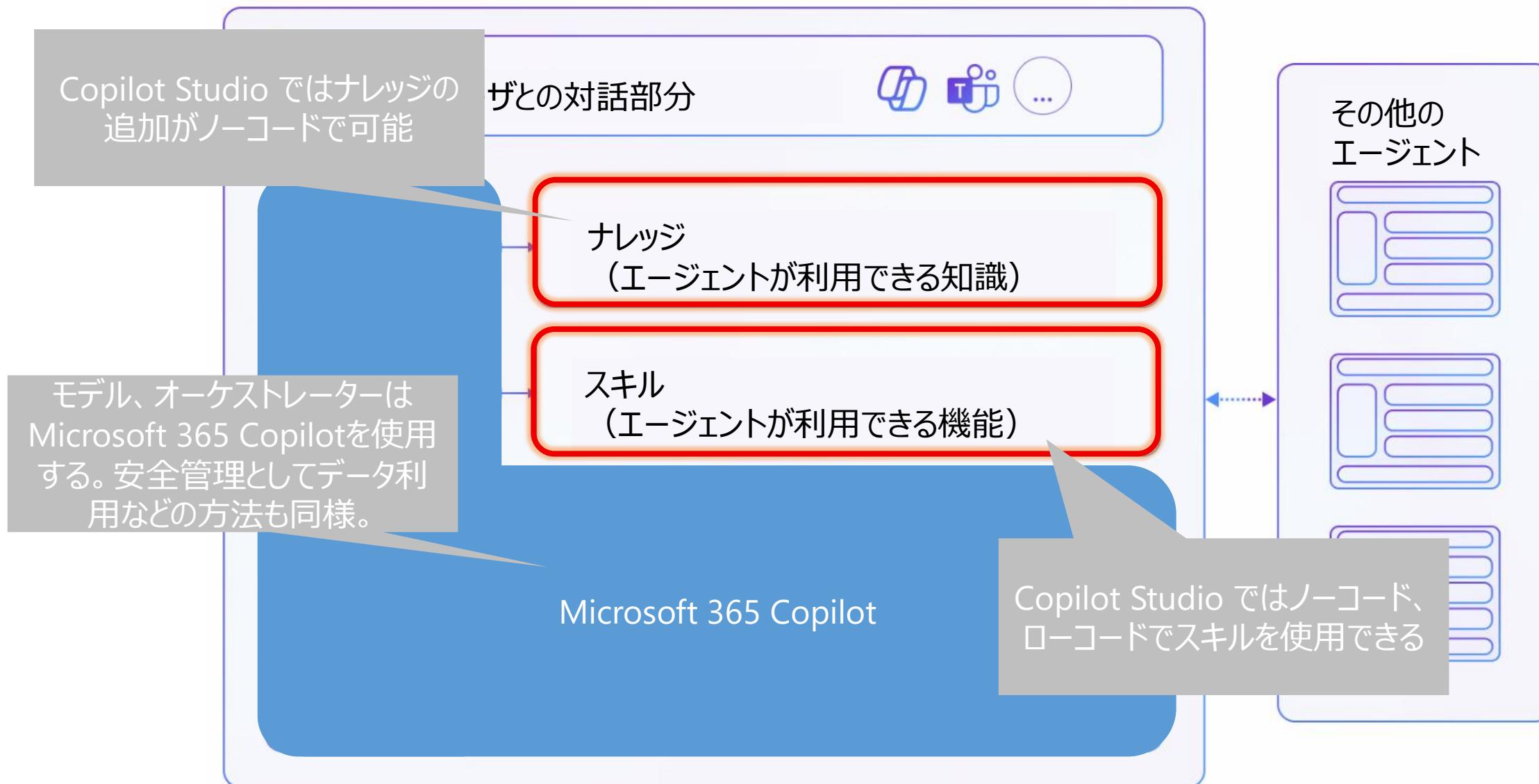
Below the table is a section 'エージェントを探す' (Find an agent) with cards for various templates:

- Web サイトについてよくあるご質問 エージェント テンプレート
- 音声 エージェント テンプレート
- 安全な旅行 エージェント テンプレート
- 財務インサイト エージェント テンプレート
- 福利厚生 エージェント テンプレート
- IT ヘルプデスク エージェント テンプレート

<https://copilotstudio.microsoft.com/>

宣言型エージェント (Declarative agents)

37



Copilot Studio Lite と Copilot Studio 構成要素比較表 38

機能カテゴリ	Copilot Studio Lite	Copilot Studio
詳細情報	○アイコン、名前、説明	アイコン、名前、説明、* 1
指示 (Instruction)	○	○
ナレッジ	○ (ファイル、Webデータ、Copilotコネクタ)	○ (ファイル、Webデータ、Copilotコネクタ)
機能	○ (コードインタープリター、画像ジェネレーター)	× (ただし、ツール統合で同様の機能に対応可能)
自動オーケストレーション	×	○
トピック構築	× (質問応答のみ)	○ 高度な構築 (メッセージ、条件ノード、反復)
トリガー	× (ユーザー入力のみ)	ユーザー入力 + イベントトリガー対応 イベントに応じてカスタムコネクタを呼び出しエージェントが自律的にアクションを実行
ツール統合/作成	×	カスタムコネクタ対応 (Power Platform) 、REST API、MCP、エージェントフロー、コンピューター操作 ツール作成はCopilot Studio内で可能
エージェント連携	× (単一モジュール)	複数モジュール + スケールアウト
オーケストレーション制御 * 1	× (不可)	○ ON/OFF設定可能 : 複数ツールやコネクタを組み合わせて自動化フローを実行
エージェントモデル選択	× (単一モデルのみ)	モデル選択可

- ・エージェントが動作を開始するきっかけとなる条件やイベントのことです。簡単に言うと、「何が起きたらエージェントを動かすか」を定義する仕組みです。
- ・トリガーは「イベント駆動型」なので、ユーザーが何もしなくても条件が満たされるとエージェントが動きます。
- ・これにより、業務の自動化や効率化が可能になります。

Copilot Studio 翻訳エージェント 環境 Contoso (default) 設定 テスト

トリガーを追加する

ユーザー入力や外部イベントに対するエージェントの応答方法を管理します。これは請求対象の機能であり、メッセージが消費されます。[詳細情報](#)

すべて おすすめ ライブラリ 検索

11 件のトリガー

Recurrence Schedule	新しい応答が送信されるとき Microsoft Forms
項目が作成されたとき SharePoint	アイテムが作成または変更されたとき SharePoint
ファイルが作成されたとき OneDrive for Business	チャネルに新しいメッセージが追加されたとき Microsoft Teams
行が追加、変更、または削除された場合 Microsoft Dataverse	新しいメールが届いたとき (V3) Office 365 Outlook
タスクが完了したとき Planner	アイテムまたはファイルが修正されたとき SharePoint
ファイルが作成されたとき (プロパティのみ) SharePoint	

指示

- ユーザーの入力を迂回する
- アメリカ人が日常的に使用する言葉
- 翻訳時には文脈を理解する
- 専門用語や業界用語を適切に翻訳する
- ユーザーからの追加情報を取得する
- 翻訳結果は簡潔で分かりやすい

ナレッジ

データ、ファイル、その他のソース

External

notranslation.docx

このエージェントでは、特定のイベントが発生するときにトリガーが発火します。たとえば、SharePoint のアイテムが作成されると、その内容を翻訳して返信するなどの操作を行います。

次へ キャンセル

この操作は適切であることを確認するために、必ず確認してください。使用条件を確認する

- エージェントに外部システムで“実際に操作する”力（更新・作成などのアクション実行）を与える拡張ポイントです。
- ツールの中には、Power Platform のコネクタやカスタムコネクタ/REST API を呼び出して業務システムと連携するタイプが含まれます。
- ポイントは「読み取りだけでなく、外部で変更を起こせること」、複数エージェントで再利用できること、そして作成・統合が容易なことです。

- プロンプト：
 - エージェントに「何をどうさせたいか」を指示するための仕組みで、LLMを活用して特定のタスクを実行するためのカスタム指示を作成する。
- Agent Flows（エージェントフロー）：
 - Power Automate ベースの業務自動化をエージェントから呼び出す。
- 事前構築済みコネクタ / カスタム コネクタ / REST API：
 - Power Platform コネクタなどのアクション（1,400+ の事前構築済みコネクタを活用）
 - 既存の事前構築済みコネクタにない外部サービスへ接続。カスタムコネクタで自社 API を公開し、同様にアクションとして利用可能です（REST 必須、認証方式の選択可）。
 - 認証は OAuth 2.0, Basic 等に対応。
- コンピューター操作：
 - ブラウザ操作を伴う Web 実行（推論 + ブラウズで画面内アクション）
 - 「人が手動で行うクリックや入力」を自動化できる
- Model Context Protocol（MCP）：
 - ナレッジサーバーやデータソースを標準プロトコルで接続。エージェント間連携の足回り。

Copilot Studio 翻訳エージェント 概要 サポート情報 ツール エージェント トピック 活動 評価 分析 チャネル 公開 設定 テスト

環境 Contoso (default) NA

指示

- ユーザーの入力を選択する
- アメリカ人が日常的に使う言葉
- 翻訳時には文脈を理解する
- 専門用語や業界用語を適切に翻訳する
- ユーザーからの追加情報を元に翻訳結果は簡潔で分かりやすい

ナレッジ

データ、ファイル、その他のナレッジ

External

notranslation.docx

すべて表示

Web 検索

すべての公開 Web サイト

ツール

AI が特定のタスクを実行するためのツール

マーケティング用ピッチ

エージェント

このエージェントを、
報告する

ツールを追加する

さらに多くの作業をエージェントに任せます。詳細情報

プロンプト

自然言語と AI 推論により、テキスト、ドキュメント、画像、データを分析して変換します。

エージェントフロー

これらの予測可能な自動化は毎回同じ方法で実行され、必要に応じてより詳細に制御できます。

コンピューター操作

Web とデスクトップ アプリを直接使用できるようにエージェントを強化します。

カスタム コネクタ

外部サービスとデータ ソース。

REST API

エージェントによるデータの接続と使用に求められる柔軟かつスケーラブルな方法。

モデル コンテキスト プロトコル

AI を基盤に設計された、エージェントをデータと接続するためのオープン標準。

この翻訳エージェントです。ごとに利用します。たとえば、コパンの情報を提供する場合、その Web サイトに、生成 AI を設定することができます。

戻る キャンセル ます

エージェントを追加する

AI によって生成されたコンテンツが正確かつ適切であることを使用前に必ず確認してください。使用条件を確認する

- 複雑な業務タスクを分解し、複数のエージェントに役割を持たせる設計が推奨されています。
- 仕組みのポイント
 - メインエージェント
 - 全体のオーケストレーションを担当。ユーザーから「契約更新して」と指示を受けると、必要なサブエージェントを呼び出します。
 - サブエージェント（ツール化された機能）例：
 - 契約書要約エージェント → プロンプトツールで LLM に要約を指示
 - 承認フロー実行エージェント → Power Automate フローを呼び出す
 - 通知送信エージェント → Teams や Outlook コネクタで通知を送信

- FAQ、承認フロー、レポート生成など、業務に沿った会話パターンを作成できます。
- トピックを設計することで、ユーザーの質問に対してスムーズで一貫性のある応答が可能になります。
- 会話の進行ルート
 - トピックは「ユーザーとエージェントのやり取りがどのように進むか」を決める設計図です。特定の質問や課題に対応するための会話パスを定義します。
- 構成要素
 - 会話ノード：メッセージ送信、質問、アクション実行などを行うステップ。
 - トリガーフレーズ：ユーザーが入力する可能性のあるキーワードや質問。「店舗の営業時間を探したい」→「営業時間トピック」を起動。
 - アクション：トピック内でツールやコネクタを呼び出し、外部システム操作や情報取得を実行。

Copilot Studio 翻訳エージェント 概要 サポート情報 ツール エージェント トピック 活動 評価 分析 チャネル

環境 Contoso (default) ? NA

ホーム 作成 エージェント フロー ツール ...

← 無題 ▼ NA コメント [x] 変数 トピック チェッカー ⓘ 詳細 ... 保存

エージェントをテストする + ⌂ ... ✎ X

トリガー

エージェントが選択するもの

トピックの機能を説明する

例: このトピックでは、サポートチケットに関する情報(現在の状態、割り当てられたユーザー、最近のコメントなど)を提供します。「チケットは現在どのような状態ですか?」のようなお問い合わせに回答できます。

貼り付け

メッセージを送信する
質問する
アダプティブカードで質問する
条件を追加する
変数管理
トピック管理
ツールを追加する
エージェントを追加する
詳細

こんにちは、私は仮想アシスタントの翻訳エージェントです。ご質問への回答時に必要に応じてAIを利用します。たとえば、コパイロットの作成時にWebサイトの情報を提供する場合、そのWebサイトについて質問できます。さらに、生成AIを設定することでコパイロットにナレッジを追加することができます。

1時間前

質問するか、または目的を説明します
0/2000

AIによって生成されたコンテンツが正確かつ適切であることを使用前に必ず確認してください。使用条件を確認する

- Microsoft 365 Copilotの拡張方法
- Microsoft 365 Copilot コネクタ
- 宣言型エージェントを作成する
 - SharePoint（ノーコード）
 - Microsoft Copilot Studio Lite <エージェントビルダー>（ノーコード）
 - Microsoft Copilot Studio（ノーコード、ローコード）
 - Visual Studio Code と Microsoft 365 Agents Toolkit（Pro コード）
- まとめ

- Proコード（プログラム言語）でのエージェント開発
- Microsoft 365 Agents Toolkit（旧名称：Teams Toolkit）
 - Agent Toolkit を使用すると、Visual Studio Code を使用して、Microsoft Teams、Outlook、Microsoft 365 Copilotのアプリ開発を簡単に開始できます。
 - Agent Toolkit は、**Visual Studio Code の無料拡張機能**として使用できます。
 - Microsoft 365 Agents Toolkit自体は開発ツールであり、エージェントのコードやマニフェストを作成するための環境を提供します。
- 開発言語（Toolkitで利用可能な言語）
 - TypeScript / JavaScript（Visual Studio Code拡張）
 - .NET（C#）（Visual Studioワークロード）
 - Python（カスタムエンジンエージェントで利用可能）
 - その他：JavaScriptフレームワーク（Semantic Kernel、LangChain）
 - など

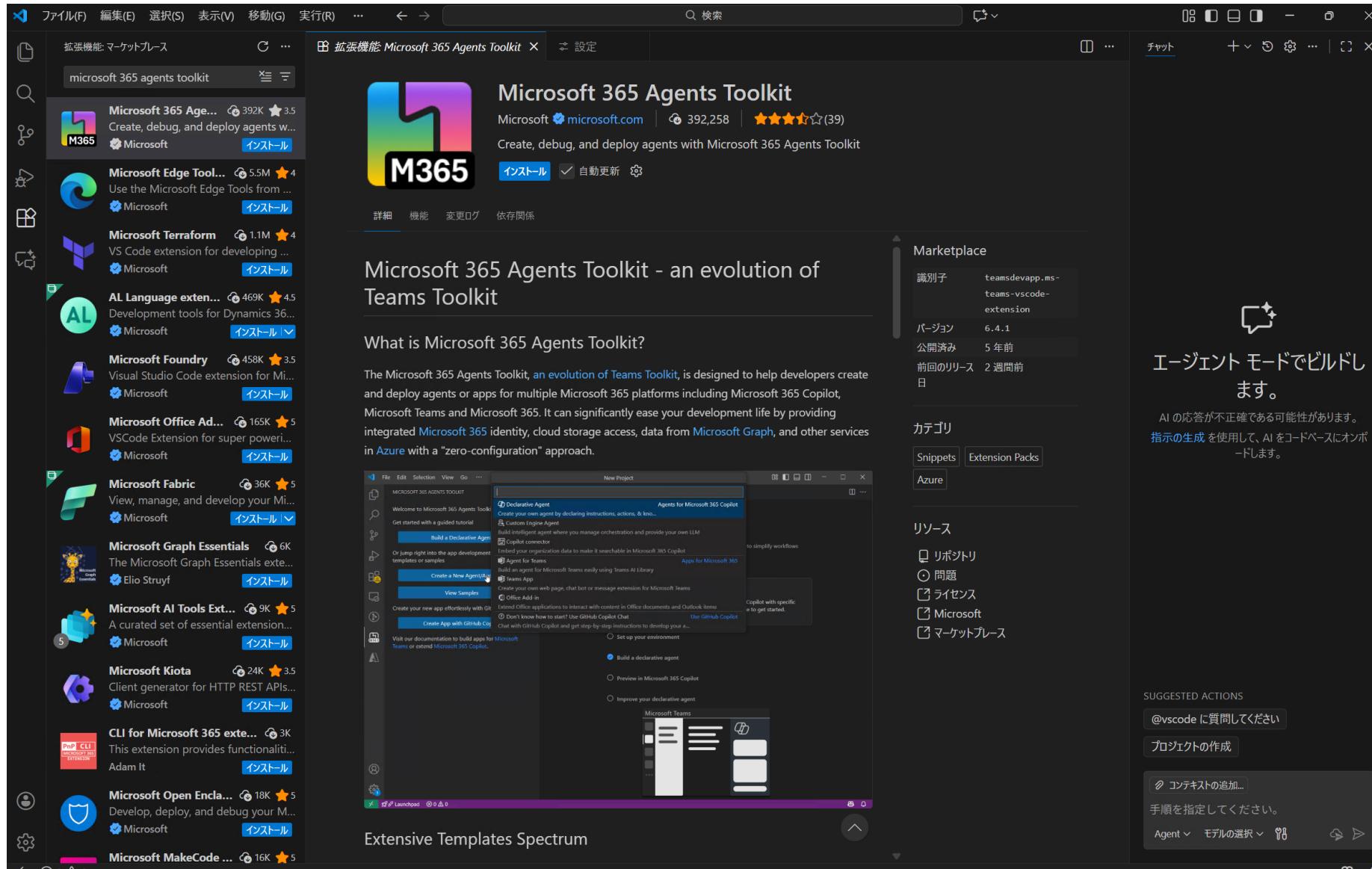
- 宣言型エージェント（Proコード）の開発の流れ
 - Visual Studio Code（エディタ）に「Microsoft 365 Agents Toolkit 拡張機能」を追加する
 - 「新しいエージェント/アプリを作成する」を選ぶ
 - プロジェクトが作成される
 - 設定ファイルを編集して、ナレッジソースやスキルを追加する
 - 「プロビジョニング」を行う（エージェントがMicrosoft 365 Copilot Chat上で利用可能となる）

[Microsoft 365 Agents Toolkit を使用して宣言型エージェントを作成する | Microsoft Learn](#)

[Microsoft 365 Agents Toolkit の概要 - Teams | Microsoft Learn](#)

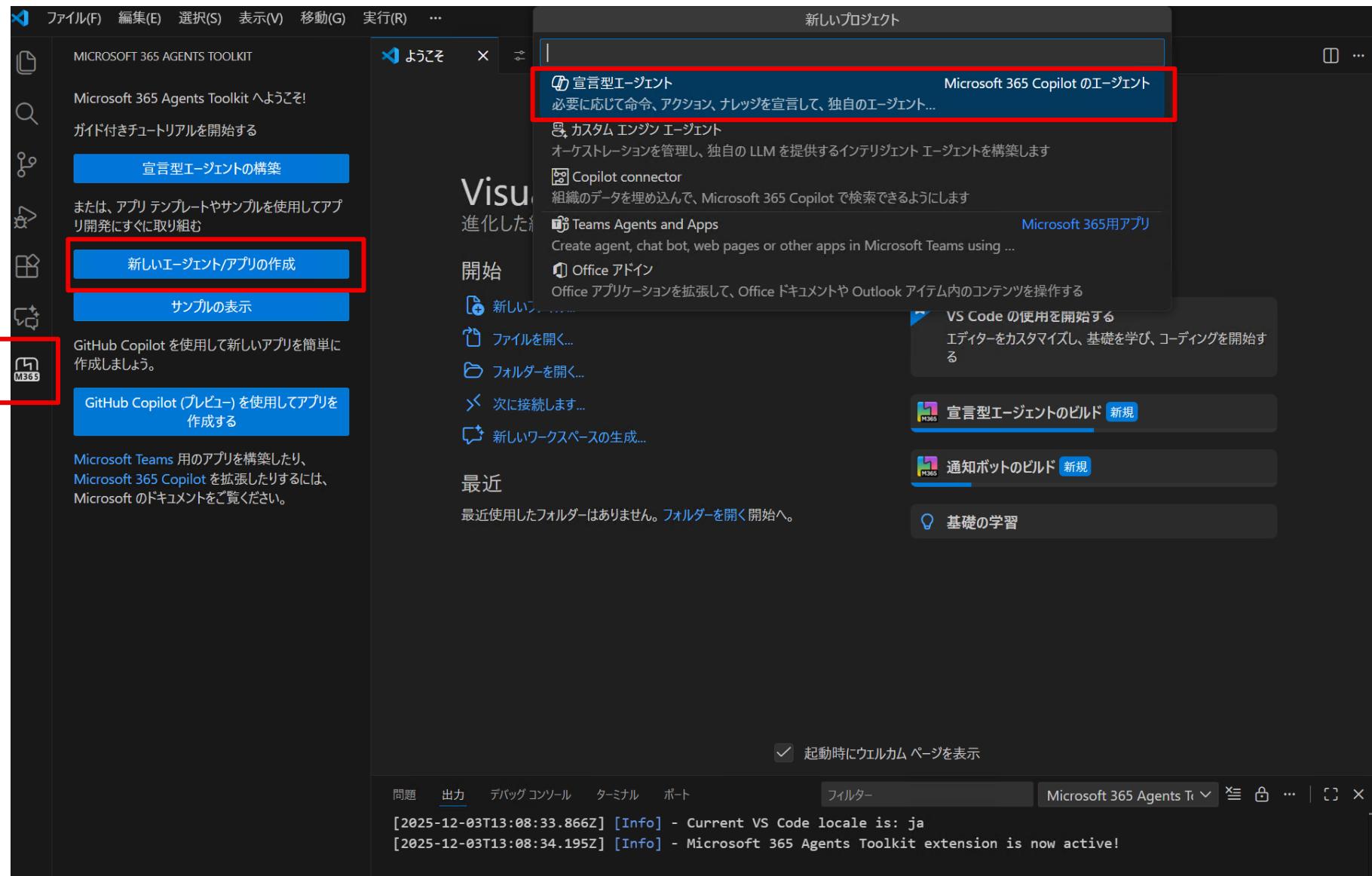
Visual Studio Code と Microsoft 365 Agents Toolkit

50



Visual Studio Code と Microsoft 365 Agents Toolkit

51



- Microsoft 365 Agents Toolkitは、高度なカスタマイズや開発者向け機能を提供する一方で、ノーコードや簡単な統合はできないため、開発スキルと環境が必要です。
- 主な制約事項
 - Power Platformコネクタ非対応
→ Copilot Studioのようなドラッグ & ドロップで簡単にAPI連携はできない。
 - ノーコードUIなし
→ 設定は手動でJSON編集が必要。トグル式のUIはない。
 - ローコードツールでの再利用不可
→ Agents Toolkitで作ったエージェントはCopilot Studioでは使えない。
 - 学習コストが高い
→ 開発者向け設計なので、ビジネスユーザーやIT管理者には難しい。

- 必須
 - Microsoft 365テナント
 - Visual Studio Code (Microsoft 365 Agents Toolkit拡張付き)
※Visual StudioやGitHub Copilotでも利用可能
 - JSONの知識
- 任意
 - エージェントが統合する内部APIやサービスへのアクセス
 - GitHubやAzure DevOpsによるソース管理とCI/CD

- Microsoft 365 Copilotの拡張方法
- Microsoft 365 Copilot コネクタ
- 宣言型エージェントを作成する
 - SharePoint（ノーコード）
 - Microsoft Copilot Studio Lite <エージェントビルダー>（ノーコード）
 - Microsoft Copilot Studio（ノーコード、ローコード）
 - Visual Studio Code と Microsoft 365 Agents Toolkit（Pro コード）
- まとめ

- Microsoft 365 Copilotの拡張方法には
 - Microsoft Copilot コネクタを使用して、外部情報を収集する
 - 宣言型エージェントは、Microsoft 365 Copilotと同じプラットフォーム（CopilotのAIインフラ、モデル、オーケストレーターを使用）にホスティング
 - 宣言型エージェントの作成に使用できるツールは複数あるが、最終的に作成されるのはいくつかの設定ファイル（正確には「マニュフェスト」と呼ばれる）の集まりです
 - Microsoft Copilot Studio Lite <エージェントビルダー> はナレッジをノーコードで拡張できます
 - Microsoft Copilot Studio はナレッジとスキルをナレッジとスキルをノーコード・ローコードで拡張できます
 - Visual Studio Code と Microsoft 365 Agents Toolkitを使用してナレッジとスキルをプロコードで拡張できます
- それぞれのツールによって作成できる範囲と手法がことなるので、作成するエージェントの目的に合わせて適切なツールを選択します